

広報おおさきへの意見を聞かせてください

「広報おおさき」は、市が取り組む事業や地域の問題を掲載し、毎月1回、行政区長を通して市内の全世帯にお届けしています。

今後も、より分かりやすく、市民の皆さんが必要とする情報を掲載するため、広報おおさきに対するアンケートを実施します。皆さんの声を聞かせてください！

☎ 秘書広報課広報広聴担当 ☎ 23-5023

■ アンケート対象者

「広報おおさき」を読むすべての人

■ 意見の受付期間

8月26日(月)～9月20日(金)

■ 意見の提出方法

① 窓口への持参・郵送での回答

秘書広報課、市民課、各総合支所市民福祉課、各基幹公民館に備え付けの「広報おおさきに関するアンケート」用紙に必要事項を記入し、窓口へ提出または郵送(9月20日消印有効)

郵送先 〒989-6188 大崎市古川七日町1-1

大崎市役所秘書広報課

※アンケート用紙は市ウェブサイトでもダウンロードできます。

② 市ウェブサイトでの回答

市ウェブサイト (<http://www.city.osaki.miyagi.jp/news/index.cfm/detail.1.33655.html>) からメールで回答

■ アンケート結果の公開

アンケートの結果は市ウェブサイトで公開し、今後の広報おおさきの紙面作りに生かしていきます。



アンケート内容 (一部抜粋)

- ① 広報おおさきは、どのくらいの頻度で読みますか？
- ② 特に読む記事(コーナー)はどこですか？
- ③ 広報紙にあったら読みたい記事はどれですか？



◀ QR コード

スマートフォンなどで読み込むと、市ウェブサイト内のアンケート入力ページが表示されます。

■ 8月1日現在の市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,984	+ 22	39,395	+ 22	77,379	+ 44	31,648
松山	2,878	+ 1	3,057	+ 3	5,935	+ 4	2,186
三本木	3,855	- 15	3,903	- 3	7,758	- 18	2,688
鹿島台	5,682	- 20	6,063	- 21	11,745	- 41	4,540
岩出山	5,152	- 6	5,358	- 9	10,510	- 15	4,144
鳴子温泉	2,802	- 13	3,070	- 8	5,872	- 21	2,675
田尻	5,262	- 11	5,395	- 11	10,657	- 22	3,610
市全体	63,615	- 42	66,241	- 27	129,856	- 69	51,491

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

■ 交通死亡事故件数

(8月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	1件	- 1
死亡者数	1人	- 1

■ 火災発生件数

(7月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	10件	- 5
林野火災	3件	+ 2
車両火災	4件	+ 1
その他火災	3件	- 1
合計	20件	- 3

■ 今月の納税

納期限：9月30日(月)

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

■ 空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日時	地表面から1m	地表面から0.5m
8月19日測定		
市役所第2駐車場	0.05	0.06
松山総合支所	0.04	0.03
三本木総合支所	0.05	0.05
鹿島台総合支所	0.05	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.04
鳴子総合支所	0.06	0.05
田尻総合支所	0.05	0.04

☎ 防災安全課消防担当・交通防犯担当 ☎ 23-5144

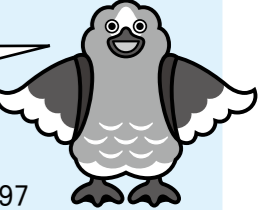
軽自動車税	—
固定資産税・都市計画税	第3期
市県民税	—
国民健康保険税	第3期
介護保険料	第3期
後期高齢者医療保険料	第3期

■ 9月号の主な内容

- ④ 第5期おおさき宝大使をご紹介します
- ⑤ 子育てにやさしい社会へ
10月1日から施設等利用料が無償化されます
- ⑥ 10月1日から施設の使用料や水道料金、下水道使用料などを改定します
- ⑧ 市政トピックス 8月の主な出来事
- ⑨ 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- ⑩ オオサキプレイガイド
- ⑬ 今月のお知らせ
就学時健康診断を実施します ほか
- ⑲ 子育て支援情報
- ⑳ 育児相談・乳幼児健診
- ㉔ 休日当番医 ほか

♪ピタ崎さんの観光ひとくちメモ

その38
宮城奥レ
大崎・鳴子温泉コース



☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

9月28日に、宮城県で3コース目となる宮城奥レ「大崎・鳴子温泉コース」がオープンするよ!

奥レとは、「通りから家に通じる狭い路地」という意味で、韓国・済州島発祥のトレッキングなんだ。

その魅力は、海や山などの自然、民家の路地などを身近に感じて、自分のペースでゆっくり楽しみながら歩くことにあるんだ!

「大崎・鳴子温泉コース」は、距離が約10キロメートル。

9月28日に、宮城県で3コース目となる宮城奥レ「大崎・鳴子温泉コース」がオープンするよ!

奥レとは、「通りから家に通じる狭い路地」という意味で、韓国・済州島発祥のトレッキングなんだ。

その魅力は、海や山などの自然、民家の路地などを身近に感じて、自分のペースでゆっくり楽しみながら歩くことにあるんだ!

「大崎・鳴子温泉コース」は、距離が約10キロメートル。

今月の表紙

8月3日・4日、古川地域中心商店街を会場に「おおさき古川まつり」が開催されました。

色とりどりの鮮やかな「七夕飾り」約70本が通りに花を添え、創作みこしパレードや古川おどり、古川まつり太鼓が一層活気をつけました。



気温が30度を超える暑さの中、みこしの担ぎ手は「ワッショイ」の掛け声でさらに熱気をまとい、陽気な笑顔振りまきながら、お祭り気分は見る人も担ぎ手も最高潮に達していました。



市長コラム 天地人

不易流行の旅

「不易流行」とは、松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を通じて体得した不変の理念と言われております。

時代を超えて変わらない価値あるもの「不易」と、時代の変化とともに変わっていく必要があるもの「流行」があり、どちらも大切であるという教えであります。

俳人松尾芭蕉派が「奥の細道」の旅に出たのは330年前。悲運の将、源義経の追慕であり、歌枕の地探訪の旅だったと言われております。

大崎市に入ったのは、平泉からの帰路、岩ヶ崎、真坂を経て、岩出山に一泊。歌枕に詠われた「小黒ヶ崎」や「美豆の小島」を訪ね、尿前(うりまへ)の関から堺田(出羽の国)に向かいました。

また、大崎には芭蕉が訪れようとしたが、道を誤ってたどり着くことができなかつた「幻の歌枕の地、緒絶の橋」もあります。

奥の細道ゆかりの地33の自治体は、実行委員会を立ち

上げ、奥の細道紀行330年記念事業を実施しています。

9月7日には「政宗公まつり」に合わせてキャラバン隊が来市しますし、旧有備館において記念企画展が開催され、「出羽街道の旧道もあるこう!」の企画もあります。

今月末には、宮城奥レ大崎・鳴子温泉コースとして悠久の道をトレッキングしていただく事業もスタートします。

さらに、奥の細道ゆかりの地が連携して、奥の細道「日本遺産」登録への運動も起動しております。

奥の細道330年を機に、古道や歌枕ゆかりの地に足を運んでみませんか。

「不易」と「流行」の両面から大崎の景観や歴史、文化、食、観光のイノベーションを推進させてまいります。

大崎市長 伊藤康志

